

# 全野研 ニュース

# 全国野菜園芸技術研究会

12月1日発行 第5号  
発行所 全野研青年部  
全野研 東京事務所  
東京都千代田区神田司町2-21  
TEL 03-3233-3634  
FAX 03-3233-3666  
<http://www.zenyaken.com>  
E-mail [yasai@zenyaken.com](mailto:yasai@zenyaken.com)

第3回  
トマト・キュウリサミット  
in 湘南

## 「種苗最前線」

神奈川県平塚市で開催  
来々2月4・5日

全国野菜園芸技術研究会（全野研、八幡昭雄会長）は第3回トマト・キウリサミットin湘南で「種」を取り上げ、トマト、トシ生産者、埼玉県、神奈川県、栃木県、群馬県、茨城県、千葉県、東京都、埼玉県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、岐阜県、長野県、山梨県、新潟県、富山県、石川県、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、香川県、高松市、愛媛県、高知市、福岡県、佐賀県、大分県、熊本県、鹿児島県、沖縄県等について説明していただく。

(実行委員長 キュウリの種苗会社9社  
「渋谷忠宏全」(トマト朝日工業、カ  
野研副会長) ネコ種苗、サカタのタネ、  
を来年(平成 タキイ種苗、みかど協和  
25年) 2月4 J A全農。キュウリ久  
(月) 5(火)日 留米原種育成会、埼玉原  
神奈川県平塚 種育成会、ときわ研究場)  
市「平塚プレ から、一押し」の種苗を報  
ジール」で開 告してもらうことにして  
催する。いる。

2日目は、全農営農技

同サミットは、トマト・キュウリの生産者・経営者が一堂に会し、さらに、最近、農業部門においてインターネットによるITサービスが普及しはじめていることから、ネポン(株)の担当者から、ハウス警報モニタ（大会日程は2面に掲載）

皆さん、こんにちは。  
このほど、大山寛さんの  
後を引き継いで、トマ  
ト・キュウリサミットの  
実行委員長を仰せつかり  
ました渋谷忠宏でござい  
ます。

ト栽培では、50ト/10畝を目標にしている研究機関が多い中、平成23年度の土耕栽培で35ト/10畝の収穫量を達成したという発表もありました。施設での野菜生産は、徐々

多いはずですよ。

第3回目となる今回のコミットは、明年2月1・5日と2日間になつて、神奈川県平塚市で開催します。

第1日目は、トマト、

トマト、キュウリはわが社のこの品種に任せろゝ、〃来年の品種はこれで決まりだ〃という気構えで紹介・説明して頂きます。

また、説明だけではト

セクターの植物工場では、水耕による低段密植栽培で50<sup>ポット</sup>/10<sup>坪</sup>を目指しています。また、屋根の一部に太陽光発電パネルを設置し、その電力で天窗を開閉し換気を行っ

## 第3回 トマト・キュウリサミット

実行委員長 渋谷 忠宏



くの生産者・指導員の皆に植物工場化してきていく様方の参加を頂きとても盛況でした。当然のことながら最新農業技術に対しての関心の強さが、こゝちにあるものと改めて感じました。水耕のトマを踏みとどまっている人

キュウリの各種苗会社の一押しトマト、キュウリの品種について深く勉強します。品種の育成に關しましては、各種苗会社が大変しのぎを削っているところで、日本の

るでしょう。そこで、試  
食会も開催したいと考え  
ております。

2日目は、サミット会  
場のある平塚市にある「  
A全農営農・技術センタ  
ー」の視察を行います。同

いたいと思っています  
 として、それを経営に活  
 かし、増収・増益を実現  
 させてください。  
 トマト・キュウリサミ  
 ットの会場でお待ちして  
 います。

野  
菜  
あ  
れ  
こ  
れ

新技術普及の輪

を広げよう

全野研のかつての活動で記憶に残るものの一つに、施設園芸の新技術が生まれた場合、先進会員がいち早くそれを現場に取り入れ、リスクをかえりみず実用化を検討し、よい評価が得られたなら、数人が、さらに地域に範囲を広げ、より多くの人がそれを検証し、研究会や見学会を開き、オープンに情報提供し、あるいは後進の若者を研修に受け入れる、といった具合に、どんどん普及の輪を広げ、その技術を広めていった実績がある。近年そのようなことで特筆できる事例がなくなっているように思われて仕方がない。それは施設園芸技術の成熟度が高まり、あるいは情報媒体を通じての伝達が盛んになり、他面においては個人の技術情報がプライバシーで保護されるようになった、などの現代事情があることは否めないが、野菜生産の場合、現場の技術は、実際に生産に携わっている栽培者が組み立てはじめて本物になるということが軽視されるようになったこと大きな原因があると思われる。

現時点で、具体的に新技術の事例を提示するなら、一つにトマトの低段密植栽培がある。多数の研究成果の上に立って、難点であった多数苗の確保に人工光閉鎖型苗生産システムを活用、養液栽培装置の簡易化、誘引法の改善、年4回の多回作による栽培管理技術の習得の容易さなどが明示され、再三展示も行われ、

実用化の域に達しなげらも、現場の実施例は、今国で、試験・小規模試作を含めても僅か1段が12例、3段が33例（施設園協SHP部会H24調べ）に過ぎず、残念なことに生産農家への導入が極めて少数なことである。往時とちがひ公立の研究機関が新施設を伴った試験に、予算・人員不足で対応できない、指導奨励が同様な事情でかつたのに行いたい、指導などの事情があるのはいかにともしがたいが、今野研の若き後継者がこれら新技術の現場対応に積極的に取り組む意欲が低下していると思われるのは残念なことである。もうひとつ、最近のイチゴ生産を革新する新技術に、種子生産型品種を用いる計画的、効率的な無病種苗の大量供給とる大規模生産技術がある。この方は大学・公立研究機関により最近実用化の見通しが立ったものであり、先般開かれたさくらグリビジネス創出フェスティバルで技術展示が行われるなど、急に注目度を高めている。イチゴはトマトと並ぶ主要品目であるので、同様な事情におかれることを危惧するのである。

この2件は日本発の国際的にも卓越した新技術であるので、一層認識を高め、本会をはじめとされる研究熱心な若き次世代の担い手が、積極的に果敢に取り組まれ、普及の輪を広げられることを期待したい。

（板木技術士事務所 板木利隆）

耐久無滴農POフィルム

5年耐久

# ダイヤスター®

®

ダイヤスター

## 耐硫黄性向上!

引張強度比較

| 期間   | ダイヤスター (N) | (従来品) ダイヤスター (N) |
|------|------------|------------------|
| 初期   | ~65        | ~58              |
| 一夏過ぎ | ~50        | ~42              |
| 二夏過ぎ | ~28        | ~15              |
| 三夏過ぎ | ~28        | ~15              |

150N以下では  
糸のように破れる

●MKVドリーム試験法による強弱試験

※(ニードル)→力

MKVドリーム開発センター

最新の配合技術により、ダイヤスターの耐硫黄性を向上させました。

抜群のスッキリ  
透明感!

しなやかな  
強さを実現!

無滴効果を  
持続!

生分解性マルチフィルム<sup>®</sup>

# カエル〜チ

バイオポリマー技術と配合・加工技術の融合により  
性能とコストバランスに優れた生分解マルチです。

**土壌中で、水と  
炭酸ガスに分解されます。**




MKV DREAM

## MKVDリーム株式会社

最新の製品情報は当社ホームページをご覧ください。 <http://www.mkvdream.co.jp>

本 社 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町1-2-2 三菱樹脂ビル TEL 03-3279-3241 FAX 03-3279-6757



GSA  
GREEN SEAL  
AMERICA  
登録番号  
1007



## 来年の全野研全国大会は、 茨城県水戸市で 7月29日・30日に

全国野菜園芸技術研究会（全野研）第58回全国大会茨城大会は、来年7月29日・30日の両日、茨城県水戸市「水戸プラザホテル」で開催されることが決まった。大会スローガン（案）は「未来につなぐ魅力ある野菜園芸をめざして〜若い農業者を育てるために〜」。

1日目の29日は、特別講演、懇親会、2日目の30日は、分科会、座談会が予定されている。詳細は来春、茨城県施設園芸研究会から発表される。



平成24年秋の褒章受章者が発表になり、大山寛副会長が黄綬褒章を受章した。伝達式は11月13日、東京・霞ヶ関の農水省講堂で行われた。

【受章の喜び】秋の褒章に際し、図らずも黄綬褒章の栄に浴しましたことは、多くの皆様のご指導や、ご協力の賜であり、身に残る光栄と厚く御礼申し上げます。

【受章の喜び】秋の褒章に際し、図らずも黄綬褒章の栄に浴しましたことは、多くの皆様のご指導や、ご協力の賜であり、身に残る光栄と厚く御礼申し上げます。

## 大山全野研副会長が

## 黄綬褒章を受章



平成24年秋の褒章受章者が発表になり、大山寛副会長が黄綬褒章を受章した。伝達式は11月13日、東京・霞ヶ関の農水省講堂で行われた。

【受章の喜び】秋の褒章に際し、図らずも黄綬褒章の栄に浴しましたことは、多くの皆様のご指導や、ご協力の賜であり、身に残る光栄と厚く御礼申し上げます。

【受章の喜び】秋の褒章に際し、図らずも黄綬褒章の栄に浴しましたことは、多くの皆様のご指導や、ご協力の賜であり、身に残る光栄と厚く御礼申し上げます。

## 第3回 トマト・キュウリサミット in 湘南 日程

### 2月4日(月)

- 10:00 開場、機器資材展見学
- 11:30 受付開始
- 12:30~12:45 開 会 主催者挨拶  
来賓挨拶：農林水産省、神奈川県
- 12:45~15:00 【特別企画】  
「種苗最前線」一わが社はこの種苗でー  
(トマト)  
朝日工業(株)、カネコ種苗(株)、(株)サカタのタネ、  
タキイ種苗(株)、みかど協和(株)、JA全農  
(キュウリ)  
(株)久留米原種育成会、(株)埼玉原種育成会、(株)ときわ研究場
- 15:00~15:30 ハウス警報モニタリングサービス（インターネットによるITサービス）  
ネボン(株) 営業本部情報通信グループ担当部長 太場 次一 氏
- 15:30~16:00 展示見学・休憩
- 16:00~18:00 【事例発表・パネルディスカッション】  
「高品質・高収益経営を目指して」  
事例発表者 トマト生産者 栃木県 JAかみつがトマト青年部  
キュウリ生産者 埼玉県北葛飾郡杉戸町 田口 俊次 氏  
キュウリ生産者 神奈川県平塚市 深田 和夫 氏  
助 言 者 MKVドリーム(株) 技術顧問 稲山 光男 氏  
板木技術士事務所 所長 板木 利隆 氏  
コーディネーター 神奈川県農業技術センター普及指導部野菜課長 藤代 岳雄 氏
- 18:00 閉 会
- 18:10~20:00 交流・懇親会

### 2月5日(火)

- 9:00~11:00 全農営農技術センター施設見学、  
全農青果センター神奈川センター施設紹介
- 11:30 解 散（平塚駅）

### 第3回 トマト・キュウリサミット実行委員メンバー

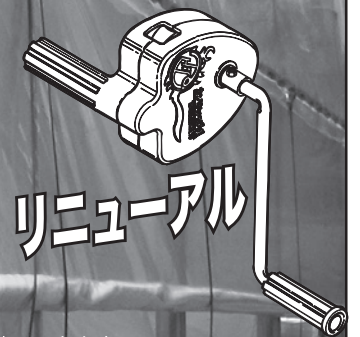
- 実行委員長：渋谷 忠宏（全野研副会長） 委 員：長嶋 智久（栃木県）  
副委員長：金井 和夫（全野研青年部会長） 神保謙太郎（栃木県）  
委 員：成田 稔雄（新潟県） 加藤 浩（埼玉県）  
吉久保憲章（茨城県） 角田 敬一（神奈川県）  
嶺岸 雄二（宮城県） 西山 賢一（神奈川県）

ハウスサイド巻き上げ換気装置

# カンキット® 101

特長

- 減速比 1:1
- 軽量化したコンパクトボディ
- 操作しやすく性能もアップ



ハウス奥行き 50m まで使用できます。



安全・安心野菜を産地から全国にテーマに

特産物とその加工品 たくなるような農産物を  
（元）の吉岡一男さん 買って満足する農産物を  
県結城市の岩崎勤さん 適切な価格で消費者に提  
施設野菜と露地野菜 供する」責任が大切だと  
を家族4人、パ して①栽培力、②選別力、  
ト3人、埼玉県北 ③PR力が大事だと訴え  
本市の加藤浩さん た。

（施設）トマト、露 清水氏は約6割の消費  
地野菜、水稻を家 者は農産物直売所の利用  
族4人、パート5 経験があること、男性よ  
名、神奈川県藤沢 り女性、若年層より高齢  
市の井上和弘さん 層の利用が多く、直売所  
（施設野菜、露地野 の魅力は「新鮮」「低価  
菜、軟弱野菜約30 格」「地元産」であるこ  
種類を栽培。2つ と「課題はスーパー等  
の直売所）が、そ の量販店との差別化」と報  
れぞれ農産物直売 告した。

大会では、功勞のあつ  
所での体験を報告 た会社・生産者に感謝状、  
した後、前出の勝 表彰状が贈られ、ベルグ  
本氏と清水氏、千 アース、星義典氏（宮城  
葉県農林総合研究 県）、増渕芳治氏（栃木  
センター栗原大二 県）、粕谷政輝氏（茨城  
氏を加えたパネル 県）・小松崎敬晴氏（同  
ディスカッション 県）・金子一夫氏（埼玉  
も行われた。

勝本氏は直売所 県・加村和夫氏（同上）  
での販売について、 相馬正敏氏（神奈川県）  
「『自己』の責任におい 谷江清氏（新潟県）、馬  
て鮮度と品質を管 場秀正氏（岐阜県）に八  
理しながら、買い 幡会長が賞状を手渡し

日本施設園芸協会（篠原温会長）は2年に1度開催する「施設園芸・植物工場展2012・G.P.E.C」を7月25日から27日の3日間、東京ビッグサイトで開催、全野研も協賛した。

パイプハウスから太陽光利用型植物工場、さら

開会式で篠原会長は、「GPECは一般的な展示会とは違い、展示して商談する場だけではない。施設園芸に関わるあらゆる人が会話するところから始まる参加型の展示会であり、日本の施設園芸の針路を探る場と位置づけている。施設園芸の将来を見据えて、皆さんにヒントを得て帰って

物工場モデル、農水省・経産省・復興庁からの政府告知、日本施設園芸協会が昨年行った「東日本大震災の復興対策に係わる施設園芸分野からの提言」を紹介するコーナーに加え、経営・栽培・環境技術・作物別生産者・養液栽培・補助金・融資の各分野の専門家が農家の質問に答え課題解決を図る相談ブースが設けられた。

出展社ブースでは、今回は特に、複数の企業ーションも行った。

ARTNER」として出展したほか、JA全農も農業ICTクラウドサービスで協業するネポン・NECと境目のないブー

ス展開を行うなど、得意分野を活かした企業間の連携の進展が伺われた。

全野研も、「全野研ニユース」で大きく取り上げ、全野研協賛会の紹介の中心としたブースを出展、25日には、全野研青年部を中心に全野研の活動紹介をするプレゼンテーションも行った。

連作障害・病気・害虫・根の張り・樹勢・味・収量など気になっていることは何ですか？ カニ殻、活性炭、海藻粉末などに有効微生物を吸着させた土壌改良資材：アグリPソイルなど目的にあった商品を。

有機質肥料・液肥・葉面散布剤

微量要素入り液肥

**サンライトアップ・ネオ**

酒粕入り肥料

**ヨージくん本生ペレット**

埼玉農工幾料販売株式会社  
〒347-0116 埼玉県加須市戸室225

TEL 0480(73)5718  
FAX 0480(73)0619

協賛会加盟各社等からの

者と商談が展開された。  
展示メーカーは次の通り。

(株)エス・ディー・エス  
バイオテック、(株)檜木産業、シンジェンタジャパン(株)、朝日工業(株)、エーザイ生科研(株)、(株)加藤工業所、みかど協和(株)、ベルグアース(株)、埼玉農工幾料販売(株)、三井化学アグロ(株)、(株)ときわ研究場、(有)本紅木、(株)埼玉原種育成会、(株)アグリセクト、片倉チッカリン(株)、(株)久留米原種育成会、大倉電機(株)、(株)ノザワ、(株)フジック、ネポン(株)、デュポン(株)、丸善薬品産業(株)、大木農園(株)、農山漁村文化協会

たねと農業資材の  
**みかど協和株式会社**  
国内営業本部

〒267-0056 千葉県緑区大野台1丁目4番11号  
TEL 043-311-6100 FAX 043-205-5501

**がんばれニッポン農業!!** キクノールとキトサンで  
コスト削減・有機減農薬栽培を!!


**純正木酢液**

**有機JAS適合資材**

**30倍～500倍**

**土壌改良材**

**植物活性液**


**木紅木 キクノール**

**木紅木**
有限会社 (きくもく)

○親苗の苗床と定植ほ場の土壌改良で、土と根を健康に  
 ○健康な苗づくりで天候に左右されない良食味多収穫

福島県いわき市好間町字大畑100  
 Tel. 0246(36)5016・Fax (36)2314  
 http://www.kikumoku.co.jp



# 業界ニュース

## 「アグリフードEXPO」輝く経営大賞にベルグアース(株)

日本政策金融公庫が平成17年度に創設した「アグリフードEXPO」輝く経営大賞は、地域の農林水産業、食品産業の優れた経営を表彰し、多くの経営の目標となる姿を示すとともに、地域の農林漁業、食品産業の発展及び環境保全型農業の推進を目的に毎年実施している。平成24年度の大賞（経営部門・西日本エリア）をベルグアース(株)が受賞した。

受賞概要は次の通り。

- ・接ぎ木苗によるトマト、キュウリ等の野菜苗の生産・販売を行い、国内トップの年2800万本を販売
- ・「閉鎖型育苗施設」等の新技術を積極的に導入し特色あるオリジナル商品を開発
- ・独自の生産管理システム、販売管理システムを開発し先進的な農業経営管理体制を確立
- ・本社等の直営農場による一次育苗及び二次育苗と、全国20か所の委託・提携農場等による二次育苗という分業体制を確立し、農業法人として全国への営業展開を実現
- ・平成23年11月に愛媛県内の農業法人として初めて、大阪証券取引所JASDAQ市場へ株式上場

## お好みの操作方法でハウス換気を楽に 東都興業 電動カンキット

電動カンキットはパイプハウスの電動式巻き上げ換気装置で、サイドや谷部、カーテンなどの巻き上げに使用する。主に設定した温度で自動駆動するが、簡単な設定変更で、タイマーによる自動開閉や、リモコンやスイッチ操作による手動開閉も可能。お好みの操作方法でハウスの換気を楽に行うことができる。

＜電動カンキットの特長＞

- サイド用、タニ用のパーツセットを駆動機に取り付け、それぞれの場所を巻き上げる。
- ハウスの奥行きは100m、開口幅は1m以内で使用できる。
- 制御盤は2系統の温度を設定できる。
- 制御盤1台で駆動機を2台まで制御する。
- ※トランス盤を増設することで、駆動機を最大26台まで増やす

## 民間部門農林水産研究開発功績者に日本ワイドクロス(株) 廣橋敏次氏

農林省と農林水産・食品産業技術振興協会は11月14日、平成24年度（第13回）民間部門農林水産研究開発功績者表彰を行った。日本ワイドクロス(株)の廣橋敏次氏が輝いた。

日本ワイドクロスの功績は、減農薬栽培の普及に貢献した農業用被覆資材の開発で、通気性・透光性と耐久性に優れる素材を使用した「サンサンネット」や、高い耐久性と遮光性に優れた防草効果を発揮する「アグリシフト」の開発。

## 農業ハウス用外張りフィルム「美サンランダイヤスター」を発売 MKVDリーム(株)

MKVDリームは、農業ハウスの外張りフィルムに使用する耐久性に優れたポリオレフィン系フィルム（農POフィルム）の「ダイヤスター」シリーズにおいて、全光線透過率を従来品と同等に保ちながら、ハウス内に入射する光を適度に散乱させることが可能な新グレード「美サンランダイヤスター」の本格販売をスタートした。

「美サンランダイヤスター」は、耐久性や無滴性、透明性に優れる「ダイヤスター」の多層フィルム（農POフィルム）の中間層に無機材料を配合することにより、作業物の生育促進が期待できるだけでなく、高温期での葉や果実の焼けを抑え、品質の向上にも貢献するとしている。

## 夏秋早熟栽培に向く大玉トマトのF1新品種「バルト」を開発 サカタのタネ

サカタのタネは、国内では民間初となる「単材」の開発で、通気性・透光性と耐久性に優れる素材を使用した「サンサンネット」や、高い耐久性と遮光性に優れた防草効果を発揮する「アグリシフト」の開発。

「バルト」の開発に成功し、生産者向けに6月から種子販売を開始した。単為結果とは、受粉・受精が行われなくても果実がなる性質のこと。高収穫、作型は、夏秋・早熟栽培が最適という。

## 来年1月にMKVDリームが「三菱樹脂アグリドリーム」に社名変更



MKVDリーム（秋原勝年社長）は、社名を来年1月1日付けで「三菱樹脂アグリドリーム」に変更する。社名変更の背景と目的については「農業資材に冠することにした」と説明する。三菱樹脂アグリドリームは、農業資材の分野で、フィルム事業における国内トップシェアの地位を固め、更なる事業の飛躍を遂げるべく取り組むと話している。

## 平成24年度 病害虫発生予報第9号 11月8日

- 【施設栽培】
- ・冬期間を迎え、施設栽培では夜間に施設内の加温が行われるようになることから、施設内の気温が外気温より高くなり病害虫が発生しやすい環境になります。
  - ・ウイルス病を媒介するアザミウマ類、コナジラミ類等の侵入又は野外への飛び出しを防止するため、施設の開口部に防虫ネット等を設置するなどの対策を実施してください。
  - ・また、雑草はこれらの害虫の発生源となりますので、施設内及び周辺の定期的な除草に努めて下さい。
  - ・栽培終了後は、作物ごみなどの生存虫を死滅させてから搬出し、土中に埋める等確実に処分してください。
  - 【発生が「多い」・「やや多い」と予想される病害虫及び地域】
  - ・野菜共通：アザミウマ類「多い」東海、関東、やや多い「近畿、九州
  - ・オオタバコガ「やや多い」南関東、東海
  - ・コナジラミ類「多い」東海、やや多い「南関東、南九州
  - ・シロイチモジトウ「やや多い」南関東
  - ・ハスモンヨトウ「やや多い」南東北、南関東、東海
  - ・キャベツ：菌核病「やや多い」東海、近畿
  - ・黒腐病「やや多い」南関東
  - ・ばいれいしょ：アブラムシ類「多い」北九州
  - ・だいこん：アブラムシ類「やや多い」南関東
  - ・黒斑細菌病「やや多い」南関東、東海
  - ・ねぎ：黒斑病「多い」東海
  - ・さび病「やや多い」東海
  - ・レタス：菌核病「やや多い」東海
  - ・いちご：アブラムシ類「多い」関東
  - ・ハダニ類「多い」北関東、やや多い「南東北、甲信、東海、中国
  - ・うどんこ病「やや多い」東海、南九州
  - ・炭そ病「やや多い」北関東、東海
  - ・きゅうり：うどんこ病「多い」関東、やや多い「甲信
  - ・べと病「多い」南関東、やや多い「東海、近畿、四国、北九州
  - ・トマト：すすかび病「多い」東海
  - ・葉かび病「多い」東海

## 二つの有効成分で 灰色かび病・うどんこ病・葉かび病に優れた効果を発揮

農林水産省登録 第23105号

新発売 殺菌剤

# 日曹 ファンベル®

顆粒水和剤

iminocladine tris(albesilate) Pyribencarb

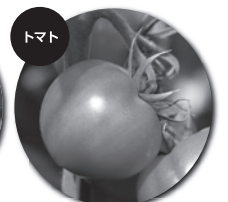
®はクミアイ化学工業(株)の登録商標

- 新規有効成分（ピリベンカルブイミノクタンジナルベシル酸塩）の混合剤！
  - 予防効果と病斑進展阻止効果！
  - 優れた浸達性と残効性！
- 

灰色かび病  
うどんこ病



灰色かび病  
うどんこ病



灰色かび病  
葉かび病